

次代を創る、 手クノロジー

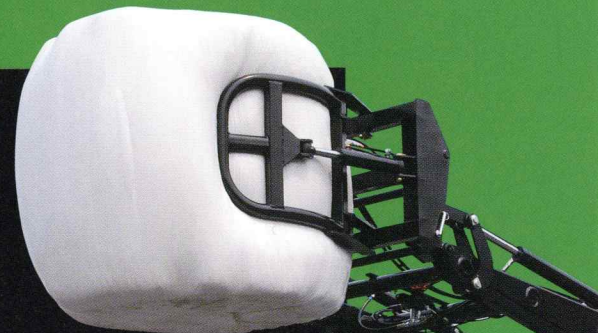


E



土砂のスクイ取りや堆肥の
切り返し、除雪、整地など
多彩なローダ作業をパワー
と繊細さでサポート。

すくう



つかむ



グローブアタッチメントにも
電磁バルブと油圧シリンダ
を組合わせ、「押す」「つか
む」の作動を実現。

さあ、先端技術の担い手に。

三陽機器は、「フロントローダ」で国内トップシェアを誇る農業・産業機械メーカーです。

農業用トラクタに装着するフロントローダ、そしてその先端部分でさまざまな作業をこなすアタッチメントは、まさに「手」そのもの。そこに新たな技術の可能性を切り拓く若い力こそ、農業の進化の担い「手」といえます。



水田・畑の畦草や長い法
面、傾斜地などの「草刈り」
を安全かつ快適に行うトラ
クタ用草刈機。

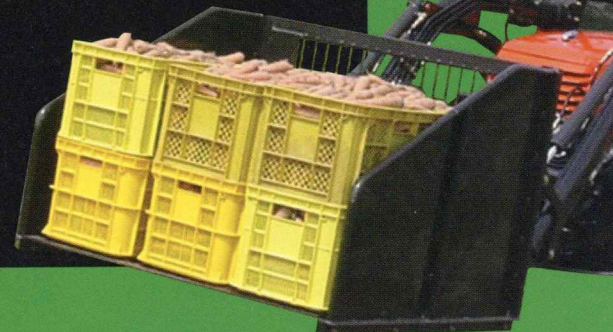
刈る



運ぶ



圃場内での野菜など収穫
物のコンテナ運搬や出荷
準備など、運搬・積み込み
作業の省力化に貢献。





「手は外部にあるもうひとつの脳である」

哲学者 イマヌエル・カント

農業の機械化や合理化に欠かせないトラクタ。その働きにさまざまな価値を付加するのが、トラクタの先端部「手」とも例えられるフロントローダです。18世紀のドイツの哲学者イマヌエル・カントは、「手は外部にあるもうひとつの脳である」と述べました。それは、脳の指令を直接的に、そして的確に実行に移す身体の機関こそ「手」であり、また感覚や手応えなど、手をセンサーとして機能させることで、さまざまな情報を脳にフィードバックし、新しい知見を増やすという意味からです。三陽機器株式会社は、トラクタの多様性、可能性に命を与えるフロントローダの開発を手がける企業として、農業の最先端技術に携わっています。そして、その新たな地平を切り開く担い手こそ、みなさんの若い情熱と創造力なのです。

世界企業を 相手に。



日本を代表するトラクタメーカーのインフラメントパートナーとしての誇りを胸に。

フロントローダとは、農業用トラクタに装着して農作業の効率化をサポートする装置です。トラクタとは、牽引車の意味で、それ自体に推進機構のないものを牽引したり、動力を供給したりする装置です。田圃などの農作業現場で、耕うん装置などの作業機をリア部に牽引している姿を見かけたことがあるでしょう。一方、

三陽機器のフロントローダは、トラクタの前部に取り付ける作業機で、日本を代表するトラクタメーカーの純正品として取り扱われており、いま市販されているほぼすべての乗用トラクタに装着できる製品ラインアップがあります。フロントローダは、フレームでトラクタ本体に装着され、トラクタの油圧システムからのパワーを制

御してアームを動かします。アームの先端には、“つかむ”、“すくう”、“運ぶ”、“刈る”など、作業用途に応じたアタッチメントがあり、これらも私たちが開発しています。メーカーと一緒に製品化を進めていくフロントローダは、トラクタの軽量化やロボット化、そしてグローバル化など、その進化とともに未来へと歩んでいます。

手探りからの出発。

創業50年余。三陽機器は、国産初の フロントローダ開発を手がけたパイオニア企業。

1966年、国産初のフロントローダ(農業トラクタ用荷役作業機)を開発・製造・販売した三陽機器は1972年から現在まで、トップ企業として圧倒的なシェアで業界をリードしています。先駆者として、手探りの試行錯誤と、先駆者だからこそその強みを活かしながら、

新しいモノづくりに挑戦。トラクタメーカーの声だけではなく、農家の声を大切にしなが製品開発・改良を続けてきました。その成果は、油圧で着脱できるローダ、世界初の電子制御ローダなど、業界に新しい風を吹き込む技術に結実しています。

1963



国産フロントローダ

国産初期のトラクタ用フロントローダ。アーム上昇は油圧駆動ですが、バケットダンブ(放出)はまだ手動の時代でした。

1981



油圧オートドッキングローダLAD

油圧を利用してアームを1本の操作レバーで対応。フレームごと離脱できるオートドッキングローダです。

1998



小型トラクタ用ミニローダ

ローダ装着率が低い20馬力以下の小型トラクタ用に開発されたコンパクトローダ。安価な価格設定で需要を喚起しました。

2006



大型トラクタ用ローダHLD

ノンリークバルブを採用。サイドフレームやフレームコネクタをなくすことで作業性やワイドな前方視界を確保しました。

2015



平行リンク付新型ローダPLD

大型トラクタ用最新モデルの平行リンク付ローダ。トラクタとの双方向通信により操作性、作業効率が大幅にアップしました。

農業の未来は、 キミの手中に。



三位一体の先端システムで、農業の効率化、ロボット化をリード。

油圧はすでに成熟した技術といわれています。空気圧や電気駆動など、より新しい技術に目が奪われがちですが、トラクタの先にあるフロントローダという装置を動かすための機構としては、エアや電気よりも、大きなエネルギーを速くにロスなく伝えやすい油圧がいちばん優れています。三陽機器は、創業当初からこの油圧技

術を磨きながらパワフルなフロントローダの開発で業界をリードしてきました。自社で油圧設計から組み立て・検査まで行えるのが三陽機器の強みのひとつといえるでしょう。さらに、この油圧システムを効率的にコントロールするにはハイレベルな制御技術が欠かせませんが、制御に関しても基本設計からプログラミングまで

一貫して対応。油圧、制御をトータルなシステムとして提供することができる私たちの大きな武器になっています。油圧技術に新たな価値を付加する、メカトロ、制御、さらにはAIを統合するなど、複合化、インテリジェント化された製品開発こそ、私たちの潜在能力が最も発揮される分野。これからの三陽機器を牽引する技術です。



土砂のスライ取りや堆肥の
切り返し、除雪、整地など
多彩なローダ作業をパワー
と繊細さでサポート。

すくう



つかむ



グローブアタッチメントにも
電磁バルブと油圧シリンダ
を組合わせ、「押す」「つか
む」の作動を実現。

さあ、先端技術の担い手に。

三陽機器は、「フロントローダ」で国内トップシェアを誇る農業・産業機械メーカーです。

農業用トラクタに装着するフロントローダ、そしてその先端部分でさまざまな作業をこなすアタッチメントは、まさに「手」そのもの。そこに新たな技術の可能性を切り拓く若い力こそ、農業の進化の担い「手」といえます。



水田・畑の畦草や長い法
面、傾斜地などの「草刈り」
を安全かつ快適に行うトラ
クタ用草刈機。

刈る



運ぶ



圃場内での野菜など収穫
物のコンテナ運搬や出荷
準備など、運搬・積み込み
作業の省力化に貢献。

研究開発の分野で東大とコラボ。モノづくりの現場ではみんな同士だ。



これまで、三陽機器ではリモコンで操作できる草刈機を開発してきましたが、さらに進化した製品にしたいというのが念願でした。そんな時、ある農業機械技術の研究会議で東京大学大学院の教授の面識を得る機会があり、研究室をお訪ねしたのがいまこうして自律走行型草刈機を共同開発することになったすべてのはじまりです。

東京大学でも草刈機の研究開発は、いくつかのテーマのひとつであったようで、



GPSユニット

私たちの製品に大いに興味を持ってくださいました。当初は共同研究でしたが、より本格的な開発をと、現在では、国の農業技術研究支援事業として「革新的技術開発・緊急展開事業(うち先導プロジェクト)」に指定され、東京大学が受託大学、三陽機器が参画企業としてプロジェクトを推進しています。

東京大学との連携のメリットを 私たちの財産としてこれからも。

自律走行の草刈機という、組み込みシステムとしてマシンを効率的に動かすためには、東京大学の協力による高精度な制御技術が不可欠で、その具体的な製品化については私たちの経験と技術力がモノをいいます。また、東京大学とのコラボの恩恵は、海外の企業が開発した低コストのセンチメートル級測位モジュールをいち早く活用できた点でも実感できました。まだ、超えるべき課題も多いのですが、しっかりと手ごたえは掴めて

います。私たちのプロジェクトは、東京大学と三陽機器合わせて20人規模のチームで進められていますが、若い人たちも多く、企業と大学の垣根を超えた仲間意識も育っています。いま、共同で取り組んでいるのは草刈機ですが、今後自律走行型の機械の需要はどんどん広がっていくものと思います。私としても東京大学との連携はこのプロジェクトだけで終わらせるつもりはありません。もっともっと、新しい可能性をカタチにしたい。これからその主役となるのは、三陽機器の若手エンジニアなのだと思っています。私自身、この会社から大学院の博士課程に学ぶチャンスを貰いました。いずれは、三陽機器から東京大学の大学院に進み、新しい知識や人脈を会社にフィードバックしてくれる人材が育ってくればと願っています。



油機・メカトロ部
メカトロチーム チーム長
工学博士 堤 俊雄



東京大学と、 手を携えて。

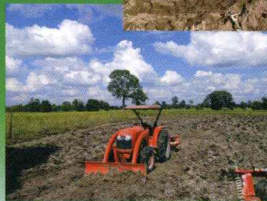
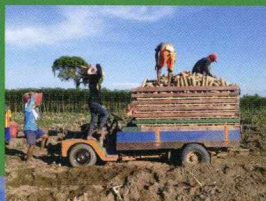
グローバルな 手腕を。

私たちの技術を成長著しい東南アジア諸国へ。
タイを拠点にグローバルビジネスを展開。

私たち三陽機器のグローバル展開の拠点、それは、ASEAN第2位の名目GDPを持つタイ王国です。タイは、外国資本を積極的に導入することで経済発展を遂げてきた国です。三陽機器は、2008年(平成20年)100%出資の現地法人(海外関連会社)「SIAM SANYOKIKI CO.,LTD.」を設立。現在、本社から赴任の日本人スタッフ2名のもと、エンジニアを含む20名強の現地スタッフがフロントローダや関連製品を生産しています。

世界を、そして次世代を見据えて。
新たなマーケットにチャレンジ。

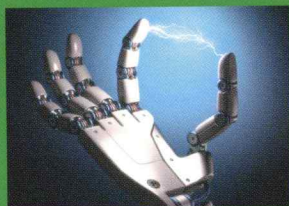
国土の4割が農地のタイでは、農業が経済を支える主要産業です。しかし、農村人口など各種の農業指標は他のASEAN諸国と比べて高いものの、小規模な零細農家が多く、生産性に関しては低いことが課題となっています。今後工業化の進展による人口の都市集中がさらに高まると、日本同様に農業の担い手不足が問題となり、農業の空洞化によってさらなる生産性の低下も心配されています。その解決に向けて、タイでもいままでも以上に関心が高まっているのが、農業の機械化です。農業問題は広く東南アジアでも共通するため、三陽機器では、拠点のあるタイをはじめ、近隣の国々へのアプローチを強化していくつもりです。将来的には農業先進国であるヨーロッパや大規模農業が主流のアメリカも視野に。より広範囲なグローバルマーケットが、これからの三陽機器マンたちの活躍のフィールドなのです。



未来を、 手がける。

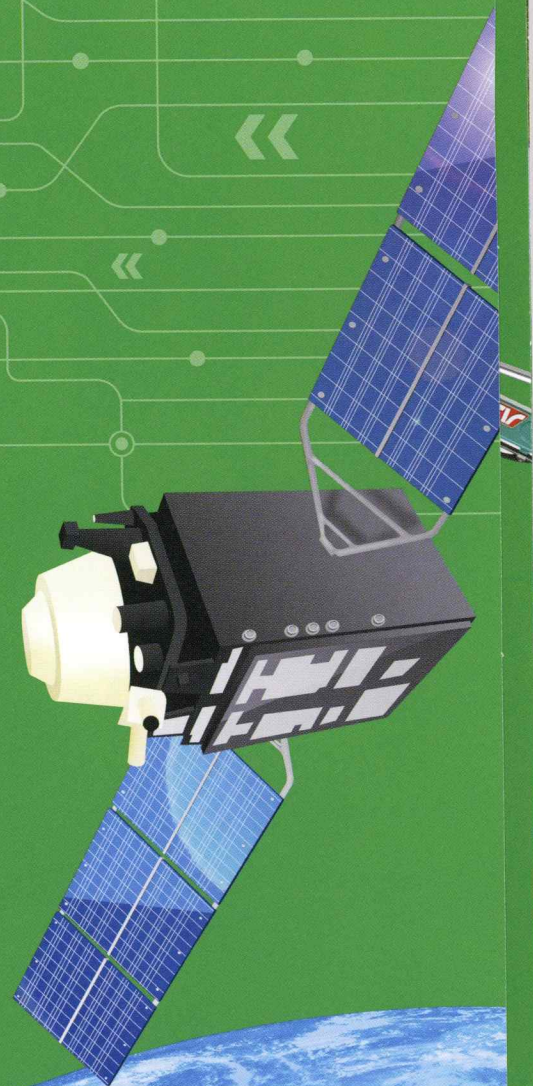
AI化の進む近未来こそ、
私たちがさらに活躍できる舞台。

農業機械が今後革新的に進化していくそのカギとなるのは間違いなくAIです。農業従事者の急激な減少と高齢化の対応として、農作業の省力化や軽労化は不可欠です。けれども、単なる合理化、効率化だけが答えではありません。これまで、農家の人々が、目で見、手で触り、体で覚えるなど、経験で積み上げてきた直感や判断力を、情報として処理できる技術ははいままでもありませんでした。しかし、人が数え切れないほどの経験を通して蓄積してきた感覚を、人工知能が人間と同じように学習して身につけるにより、新しい制御システムが誕生することになります。これにより、農業のさらなる機械化が進み、新規就農者への農業技術の継承にも役立つ、よりきめ細やかな合理化、効率化が実現できるというわけです。



加速する農業のスマート化。
新しい価値の開拓に挑戦。

このAIの実用化に向けての研究開発のひとつが、私たちと東京大学とのコラボレーションにおいて実践されている自律走行型の草刈機です。やがては、一台のトラクタに追隨して走り、同じ作業を行う自動運転のトラクタやGPSを利用した種まき、さらにまいた場所を覚えて肥料や農薬散布を自動制御する機械が実用化され、農業のスマート化があたりまえの時代がやってくることでしょう。スマート農業は遠い未来のキーワードではなく、実際に国家的プロジェクトとして動き出しています。私たち三陽機器もその一翼を担う存在として、ロボット化に対応したフロントローダや草刈ロボットの開発を進めるとともに、これまでにない新しい価値の開拓に挑戦していきたいと考えています。



OUTLINE

会社名	三陽機器株式会社
資本金	6,600万円
創業	昭和41年6月
事業内容	農業機械、環境関連機械、省力化機械、油空圧機器の創造開発・製造・販売
代表者	川平 英広
社員数	114名
国内関連会社	三陽サービス株式会社 本社/岡山県浅口郡里庄町新庄3858番地 営業所/札幌, 仙台, 関東, 大阪・岡山, 熊本
海外関連会社 (タイ王国)	SIAM SANYOKIKI CO.,LTD. 700/674 Moo 7, Tambol Don Hua Roh, Amphur Muang Chonburi, Chonburi Province
主要取引先 (アイウエオ順)	株式会社 IHIアグリテック/西日本イワタニガス株式会社/井関農機 株式会社/岩谷産業 株式会社/エム・エス・ケー農業機械 株式会社/片倉機器工業株式会社/カワサキ機工 株式会社/キャタピラー・ソリューション・エンジニアリング 株式会社(キャタピラー・ジャパン株式会社 関連会社)/株式会社 共栄社/株式会社 クボタ/小橋工業 株式会社/コベルコ建機 株式会社/株式会社 小松製作所/株式会社 ササキコーポレーション/スガノ農機 株式会社/日本ニューホランド 株式会社/初田拡撒機 株式会社/日立建機 株式会社/株式会社 日立建機ティエラ/古河ロックドリル 株式会社/株式会社 ポプキャット/松山 株式会社/三菱マヒンドラ農機 株式会社/株式会社 やまびこ/ヤンマー 株式会社/ヤンマー建機 株式会社/和同産業 株式会社 他
生産協力会社	約100社(電子部品、電子基板、油圧機器、精密加工、電装、溶接組立、機械加工、プレス加工、鋳造、鍛造)

■ ISO認証取得

適用する ISO規格	 <p>JQA-QM4853</p> <p>ISO9001:1994 品質マネジメントシステム(2000年6月9日 取得) ISO9001:2000 品質マネジメントシステム(2002年10月11日 更新) ISO9001:2008 品質マネジメントシステム(2011年10月11日 更新) ISO9001:2015 品質マネジメントシステム(2017年10月11日 更新)</p>
---------------	--

登録証番号	JQA-QM4853
登録事業所	本社・宝塚事業所
適用製品又は サービスの範囲	<p>下記の製品の設計・開発及び製造</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 農業機械用及び建設機械用の作業機 ● 油圧及び空気圧機器 ● 荷物及び器具用昇降機 ● 環境用破砕・粉碎機

社員ひとりひとりの能力を最大限に引き出す社内環境。



部品メーカーではなく、開発型企業であることを自負する私たち三陽機器では、従来の考え方や常識にとらわれない柔軟な発想力や創造力を何より大切にしています。そのために、社内空間にもこだわりを追求。ガラスの間仕切りを多用した明るく開放感あふれるオフィスに、ゆったりとしたデスク廻り、ひとり一台のCADやパソコンなど、居心地の良さに加えて自由に意見を交し合えるのびやかでクリエイティブな環境を備えています。



50年前、私たちはベンチャー企業でした。
創業時の精神を次世代にも伝えていきたい。

三陽機器は、いまから半世紀余りの1966年、農機具会社を辞めたわずか9人の技術者で創業した、いまでいうベンチャー企業としてスタートを切りました。“もっと日本の農業の効率化に貢献し、農家の人々の喜ぶ笑顔が見たい”という志を同じくする創業者たちの思いが、いまも「よろこばれる」という社是として、しっかりと受け継がれています。そして私たちは、あくまで、開発型企業であるという立ち位置にこだわり、生産設備に投資するのではなく、外部委託による高品質、低価格の製品供給システムを確立。これまで赤字に陥ることなく成長を続けてきました。こうした創業の経緯から、私たちにはオーナーによる企業のワンマン統治という発想が、そもそも最初からありません。「企業は社会の公器」という創業者たちの理念のもとに、会社の成長と足並みをそろえ、時代時代にふさわしいリーダーを起用してきました。初代、二代目は技術畑、三代目、四代目は営業畑から。そして、五代目となる私が、初めて創夢という管理畑の出身です。そんなオープンな社風の中、手から手へ、大切に会社を受け継いできました。

五代目社長の私は、初めての創夢^{*}出身。
環境づくり、人づくりが使命だと考えています。

我が社の創業以来の社是である「よろこばれる」も、時代に合わせて変わってきています。いままでにない製品開発で顧客に「よろこばれる」を追求した創業早期。顧客のニーズをこまめに汲み取りモノ作りに活かして「よろこばれる」を広げた営業力の時代、そして、いま、新たな未来像の提示と働きやすい環境づくりを通して会社のパワー、モチベーションを引き上げ、結果として顧客に「よろこばれる」を実現しています。創夢出身の私の役割は、まさに働く環境づくり、そして人づくり。それが天命だと考えています。

※多くの企業では、組織全体に関する職務を担当する部署を「総務」と呼んでいますが、三陽機器では、よりよい業務環境を創造し、社員の夢作りのために仕事をするという意味で「創夢」と呼んでいます。

よろこばれる

三陽機器株式会社
代表取締役社長

川平英広

Hidehiro Kawahira



新たな目標、AIを活用した新製品開発。
その主役となる新しい世代に期待しています。

創業当時から私たちは「農業用油圧機器の開発」や「フロントローダで世界一の企業に」という目標を、ひとつひとつ実現してきました。しかし、目標を実現すればまた新たな目標が生まれてきます。50年前と比べると、日本の農業は人手不足や高齢化がとて大きな問題になっていますが、それらを解決するのがIOT、AI等を組み込んだ農業機械の活用です。つまり、まったく新しい農業の形がこれから作られていきます。当社がこれから開発していく商品も時代のニーズに合ったIOTを活用したロボット農業機械にシフトしていくはずで、それを担う主役の一人が、まだここにいない明日の三陽機器エンジニアだといえるでしょう。未来の農業がどのように変わっていくのか、そして三陽機器がどのように成長を遂げていくのかますます楽しみです。



会社で通用するだけでなく、
社会で通用する人をめざしてほしい。

私たちはこれからもずっと挑戦し続ける企業でありたいと考えています。そのために大切なのは、まず、その仕事に関するスキルを身につけることです。これは、開発・設計から製品化まで、すべてを任せる会社としての環境、自分の努力や先輩・上司のサポートによって身につけていき、社内では充分通用する人材になることができます。しかし、さらに大きな仕事をして行くためには、社外の人との勝負になってきます。勝負に勝つには、コミュニケーション能力、創造力、そして問題解決能力をさらに磨いていく必要があります。高いモチベーションを持って努力する人にさらに大きな仕事、大きな未来がやってくるでしょう。期待しています。



ハイエンド 3DCAD を駆使。
限られた時間で作り込んでいくことの手応え。
海外を視野に入れたグローバルな活躍も。

MESSAGE 01

私はフロントローダの設計開発業務に携わっています。当社のフロントローダは、各トラクタメーカーの純正インプラメントとして販売されています。トラクタにもクルマと同じようにモデルチェンジというものがあって、排ガス規制などに対応した設計変更もあります。新型トラクタの開発が決まると、そのスケジュールに合わせたフロントローダの開発オーダーがトラクタメーカーから伝えられます。トラクタの前部に装着されるフロントローダは、エンジンやミッションに近い位置にフレームを装着することになるため、ボディ設計の早い段階からメーカーとのすり合わせが欠かせません。私たちはまず、社内の2DCADやハイエンド3DCADを駆使して試作機を設計し、次に、メーカーへ出向いての実装試験や問題点の洗い出しを行います。開発オーダーがあつてから実際に製品として完成するまで、限られた時間でしっかりとしたクオリティにまで作り込んでいくことが一番苦勞するポイントですが、やり甲斐のひとつでもあります。



エンジニアという専門職は、就職したからすぐ即戦力で活躍できるというわけではありません。辛抱強さというパーソナリティは必要ですが、先輩のサポートがあるので安心して成長できます。私も、海外向けフロントローダの設計開発業務を任せられ、先輩や上司に助けられながら出図までやりきったことはとても大きな自信につながりました。いまは、当社も海外展開を積極的に進

めていこうという段階なので、向上心さえあればグローバルな未来を描けると思います。私もタイの現地法人に出向いたり、農業先進地域であるヨーロッパの見本市を視察に出かけたりなど、海外へ出張することも少なくありません。

技術部 技術チーム

熊岸 朋哉

大阪府立大学 工学部機械工学科卒

Sanyokiki



地元岡山でしかも、業界トップ企業。
風通しのいい社風が自慢。
モノづくりをトータルに手がけられる環境。

MESSAGE 03



地元岡山で、業界トップの会社でエンジニアとして働くならここしかない、三陽機器に入社しました。以来14年、主にシリンダやバルブなど油圧機器を設計するチームのリーダーを務めさせていただいています。当社の大きな特徴は、お客様のニーズに細やかに応えられていることでしょうか。フロントローダだけではなく、創業以来培ってきた油圧技術をさまざまな用途にご提供しています。特に、油圧システム

も設計でき制御システムも組み込める私たちの総合的な技術力は、作業機メーカーさんが作られる機体に油圧と制御の「システム」としてご採用いただけるのが大きな強みとなっています。油圧は、すでに完成したベーシックな技術とされていますが、新しい制御システム、とりわけ注目されはじめているAIと融合することで、また新しい進化を遂げることが期待されています。



当社は油圧とメカトロと制御というすべての技術分野を手がけている、岡山でも、あるいは全国でも数少ない会社です。

しかし、それは会社としてだけではありません。本人次第で、すべての分野のエンジニアリングに携わることも可能です。それぞれの部署が同じフロアでしかも近いので、とても風通しが良く、すぐになんでも相談できます。一人一人が独立していながら連携が密。モノづくりをトータルに手がけてみたいエンジニア志望の人には魅力的な職場環境だと思います。もちろん、最初からすべてを任せられるわけではありません。会社にはブラザー・シスター制度という、先輩社員が新入社員が一人前になるまでサポートする制度があるので、現場で確実に経験を積みながら安心して力をつけていくことができます。

油機・メカトロ部
油機開発チームリーダー

近藤 守

徳島大学 工学部機械工学科卒



支えられ、そして任され、
何より、お客様によろこばれることで、
成長することができたと思います。

MESSAGE 04

私は2016年に新卒で入社し営業職として働いています。他の会社ならまだまだ駆け出しの頃なんだろうが、全国の営業エリアでの販売推進や展示会への参加、お客様のもとへ出向いてのトラクタへの製品の組み付けや点検など、毎日忙しくさまざまな仕事をこなしています。この会社で働いて感じるのは、初めてのことでもとりあえずやってみろと背中を押してくれる頼もしさでしょうか。もともと、ものおじしない性格なのですが、先輩方の「もし、失敗しても何とかしてやるから」という言葉に励まされながら、何にでも積極的に取り組むうちにどんどん仕事を覚えることができたと思います。最初は、出張にも先輩社員に同行して出かけていましたが、いまはどこへでも一人で出向きます。責任は重いですが、任されていることのよこびは感じます。もちろん、仕事を覚えれば覚えるほど、もっと製品の点検や整備の経験を重ね、製品への理解を深めたいと



思うようになりました。営業職ですから、直接お客様と接する機会が多くあります。仕事をしていたやりがいを感じるのは、やはり、お客様の要望にお応えできる製品をお勧めし、納得して購入していただいた上で実際に使ってみてご満足をいただき、心からよろこばれた時ですね。三陽機器は、国内のフロントローダのシェア率ナンバーワン企業ですが、お客様にもつとよこんでいただき、結果としてシェア率をさらに伸ばしていきたい

いですね。先輩の方々に支えられていまの自分があります。もし、この会社で頑張ろうと思ってくれる人がいるなら、今度は私が全力でサポートします。もちろん、追い抜かれないように、私もさらに成長したいと思っています。

営業部販売促進グループ

亀田 孝平

高知工科大学 マネジメント学部卒



MISSION 三陽機器の“理想の職場ミッション”進行中!

より働きやすい、働きがいのある職場を目指して、さまざまな社内制度を設けています。

MISSION 1



健康の“安心”を促進!

- **インフルエンザ予防費用の負担**
年1回インフルエンザ予防接種の費用を一部負担します。
- **脳ドック検査費用の負担**
45歳以上の社員に脳ドック検査費用を一部負担します。
- **企業医療保険制度**
24時間365日、社員がケガや1泊2日以上入院を伴う病気を患った場合の実費費用を補償します。

MISSION 2



スキルアップを先輩がバックアップ!

- **ブラザー・シスター制度**
同性の先輩社員がマンツーマン指導します。分からないことを何でも聞ける先輩の位置づけで、一緒に悩み、一緒に仕事をし、一緒に成長していきます。

MISSION 3



ヤル気と勇気をアシスト!

- **自己申告制度**
取得したい資格勉強や参加したい展示会等に自己申告で参加できる制度です。会社から指示するのではなく、自分から動き出すという自発性に重きを置いています。
- **創造改善提案制度**
毎月、全社員が改善実施提案を会社に提出する制度です。1件提出毎に報奨金を給与とは別で支給されます。何件提案していただいても結構です。
- **成果表制度**
通常なら上司や部門長を通しての成長・成果の自己アピールを、年に一度直接社長へアピールできる機会があります。

MISSION 4



仕事着にも、“好き”をこだわろう!

- **ユニフォーム自由選択制度**
春夏と秋冬の2シーズンごとに、カタログから選んだ好きな制服を着て仕事ができます。

MISSION 5



コツコツが、大きく育つ!

- **従業員持株制度**
入社3年経過後は自社株を持つことができ、毎年配当金も受け取れます。経営者やオーナーの視点から仕事に取り組むことができます。
- **財形貯蓄制度**
給与から天引きで貯蓄する制度です。必要時に引き出すことができます。
- **退職金制度**
勤続年数や会社への功績に応じた「退職金制度」を採用しています。
- **決算賞与制度**
決算に応じて社員へ賞与として還元される制度です。各自の頑張りがきちんと反映される内容になります。
- **交通安全表彰制度**
社員の安全を祈り、無事故・無違反の社員を5年、10年、15年と5年毎の節目で表彰。賞品をプレゼントしています。
- **永年勤続表彰制度**
勤続10年以降、5年ごとに表彰と副賞を受けることができ、勤続10年、20年、30年という大きな節目でリフレッシュ休暇を5日取得できます。長年にわたり会社を支えて続けてきた社員を労う制度です。

MISSION 6



仕事を離れてリフレッシュ!

- **社員旅行**
5年毎の周年記念旅行をはじめ、数年毎に社員旅行を行なっています。
実績：ハワイ・北京・西安・韓国・沖縄・富士箱根

MISSION 7



住まいるサポート!

- **寮・借上住宅制度**
会社が所有している寮や借り上げしている住宅に住むことができる制度です。寮は家賃や水道光熱費を会社が負担。遠隔地からの入社をバックアップします。

技術と創造でよろこばれる三陽機器の主力製品群

私たち三陽機器は、農業機械・環境関連機械、そして油圧・メカトロ関連機器など、
トータルなテクノロジーサービスで顧客の幸福に貢献しています。

農業トラクタ用荷役作業機

フロントローダ コンパクトタイプからデラックスタイプまで、
さまざまな農作業シーンをバックアップ。



草刈機

ツインモーター ハンマーナイフモーター
リモコン式自走草刈機 水田・畑の畦草や長い法面、傾斜地などの
「草刈り」を安全かつ快適にサポート。



樹木破砕機

グリーンフレーカー
伐採・剪定した樹木や竹を粉碎し減容化処理。
堆肥化の促進など樹木のリサイクルを応援。



昇降機

気圧リフター、ワイヤーリフター
空調ダクト・天井エアコン・照明器具の取
り付け工事など、高所作業を支援。



油圧機器・制御システム

油圧機器単体のほかマイコンを用いた油圧制御システムなど、オリジナル開発の高品質設計。

